

基礎演習Ⅱ

1. テーマ

グローカリズムの諸問題

2. 授業内容

「地球的に考え、それぞれの持ち場で行動する(Think globally, act locally!)」とはどういうことか、をめぐって、テキストを参考にしながら自分をもっとも興味をもつ問題を見つけ、それについて勉強した成果を発表する。発表にもとづく討論が主体の授業。

3. 授業計画

学生の発表が主体なので、最初から決まった筋はないが、取り上げる問題は以下のようなものになる。

- 1) グローバル化とは何か?
- 2) グローバルな市場をめぐる問題
- 3) 電子情報化をめぐる問題
- 4) ネットワーク化をめぐる問題
- 5) 地球社会の支配とは?
- 6) 戦争と民族紛争をめぐる問題
- 7) 南北間・東西間の格差をめぐる問題
- 8) 地球環境問題
- 9) 人口爆発と少子高齢化をめぐる問題
- 10) ジェンダーをめぐる問題
- 11) 国連など国際組織をめぐる問題
- 12) NGP/NPO をめぐる問題
- 13) 地球市民とは?
- 14) グローカリズムとは?
- 15) 地球市民の生き方

4. 授業方法

先生の初回の説明やテキストから自分が興味を持てる問題を探し出し、それについての勉強の成果を発表し、討論をつうじて、互いに現代社会と地球市民およびグローカリズムについての考えを深めあう。最後に4000字以上のレポートを提出。授業の最後までに、地球市民としての生き方について、自分なりの意見をもてるようにする。

5. 評価方法

出席および研究発表と討論参加が60%、提出レポートが40%、で評価する。

6. 教科書・参考書

教科書：庄司興吉編著『地球市民学を創る』（東信堂，2009，ISBN978-4-88713-896-4）

この授業については、庄司のホームページを毎週見て、必要な資料等をダウンロードすること。該当ページは、「市民の社会学をめざして <http://www.kokshoji-globalcitizen.com/>」の「市民のための社会学」のなかから探す。このページを見なかったために指示されたことをしない場合は、評価が低くなる。

基礎演習Ⅱd

1 0 1 1 2 6

基礎演習の説明。

演習テーマ——グローカリズム——についての説明。この前のページをプリントアウトしてもってくること。

研究調査計画の作り方の説明。庄司のホームページから「研究・調査計画作成要領」をダウンロードしてプリントアウトし、もってくること。

次の週までに全員が研究調査計画を作り、全員分をコピーしてくる。

1 0 1 2 0 3

全員が研究調査計画を配り、簡単に説明して議論する。

全員が研究調査にはいる。

1 0 1 2 1 0

研究調査の発表、最初の9人。

発表について全員が反射光線でコメントする。

発表が終わった人は手をゆるめず、研究調査をすすめる。

1 0 1 2 1 7

研究調査の発表、残りの全員。

発表について全員が反射光線でコメントする。

反射光線は12月22日17時までに地民研助手に提出。

該当者は12月24日14時～17に庄司研井上さんから自分の報告にたいする皆のコメントを受け取ること。自分の報告にたいする皆のコメント受け取りにこず、レポートに反映させないものは評価が低くなる。

発表が終わったら全員、手をゆるめず、研究調査をすすめる。

1 1 0 1 0 7

全員が自分のテーマでの研究調査に集中。

レポートをまとめるにあたっては、研究・調査レポート作成要領とレポート執筆要領を良く読んで、指示どおりにすること。

1 1 0 1 1 4

全員が自分のテーマでの研究調査に集中。

レポートをまとめるにあたっては、研究・調査レポート作成要領とレポート執筆要領を良く読んで、指示どおりにすること。

1 1 0 1 2 1

全員が完成させた研究・調査レポートを持ってくる。

研究調査について成果を述べあい、総括討論。

基礎演習Ⅱc

101008

基礎演習の説明。

演習テーマ——グローカリズム——についての説明。この前のページをプリントアウトしてもってくること。

研究調査計画の作り方の説明。庄司のホームページから「研究・調査計画作成要領」をダウンロードしてプリントアウトし、もってくること。

次の週までに全員が研究調査計画を作り、全員分をコピーしてくる。

101015

全員が研究調査計画を配り、簡単に説明して議論する。

全員が研究調査にはいる。

101022

研究調査の発表、最初の7人。

発表について全員が反射光線でコメントする。

発表が終わった人は手をゆるめず、研究調査をすすめる。

101029

研究調査の発表、次の7人。

発表について全員が反射光線でコメントする。

発表が終わった人は手をゆるめず、研究調査をすすめる。

101112

研究調査の発表、残り全員。発表を無断で休んだり、発表しなかったりすると、厳しい評価を受ける。

発表について全員が反射光線でコメントする。初回分を出していない人はその分も含めて提出。

発表が終わった人は手をゆるめず、研究調査をすすめる。レポート作成の準備へ。

101119

1400-1700の間、全員が反射光線を庄司研に提出。1022に発表した人、1029に発表した人は、自分の発表についての仲間のコメントを受け取る。1112に発表した人は来週受け取りに来る。コメントを受け取りに来ず、最終レポートに反映しない人は減点。

全員が最終レポートの執筆に集中。執筆要領は反射光線の欄を参照。

基礎演習Ⅱb

1 0 0 6 1 1

基礎演習の説明。

演習テーマ——グローカリズム——についての説明。

研究調査計画の作り方の説明。

来週までに全員が研究調査計画を作り、全員分をコピーしてくる。

1 0 0 6 1 8

全員が研究調査計画を配り、簡単に説明して議論する。

全員が研究調査にはいる。

1 0 0 6 2 5

全員が研究調査を続行。

1 0 0 7 0 2

研究調査の発表、最初の6人。

発表について全員が反射光線でコメントする。

発表が終わった人は手をゆるめず、研究調査をすすめる。

1 0 0 7 0 9

反射光線を提出。

研究調査の発表、次の6人。

発表について全員が反射光線でコメントする。

発表が終わった人は手をゆるめず、研究調査をすすめる。

1 0 0 7 1 6

前回の発表についての反射光線を庄司研井上さんに提出。7月2日に発表した人は自分の発表についての皆のコメントを受け取る。

各自、研究調査をすすめる。

1 0 0 7 2 3

研究調査の発表、残りの者全員。最後に、最終レポートについての説明を受ける。

発表について全員が反射光線でコメントする。反射光線は7月30日の11時から13時までに庄司研井上さんに提出。

7月16日に井上さんがお休みとなったため、全員が皆のコメントを7月30日の16時から17時のあいだに庄司研で井上さんから受け取る。コメントを受け取りに来ない者は減点の対象となる。

全員が執筆の態勢にはいる。

基礎演習Ⅱa

1 0 0 4 1 6

基礎演習の説明。

演習テーマ——グローカリズム——についての説明。

研究調査計画の作り方の説明。

来週までに全員が研究調査計画を作り、全員分をコピーしてくる。

1 0 0 4 2 3

全員が研究調査計画を配り、簡単に説明して議論する。

全員が研究調査にはいる。

1 0 0 5 0 7

研究調査の発表、最初の6人。

発表について全員が反射光線でコメントする。

発表が終わった人は手をゆるめず、研究調査をすすめる。

1 0 0 5 1 4

研究調査の発表、次の6人。

発表について全員が反射光線でコメントする。

発表が終わった人は手をゆるめず、研究調査をすすめる。

1 0 0 5 2 1

研究調査の発表、残りの8人。

発表について全員が反射光線でコメントする。

全員が研究調査レポート最終版の執筆にかかる。

1 0 0 5 2 8

全員研究調査レポートを執筆。

1 0 0 6 0 4

自分の報告についてのコメントを受け取っていないものは、16時20分から17時までのあいだに、必ず庄司研に受け取りに来る。みんなのコメントを最終レポートの執筆に活かすこと。

全員が研究調査レポートを執筆。何か問題がある場合は、庄司に直接質問に来る。

注意！！

自分の報告についてのコメントを受け取っていないものは、6月9日午後以降に地民研で助手から必ず受け取ること。みんなのコメントを最終レポートの執筆に活かさない場合はそれだけ評価が低くなる。